

第2分科会（広報委員会）

テーマ：「語り伝える子ども達の見守り方～保護者の連携と地域の連携～」

分科会内容

近年子ども達が巻き込まれる事件が多く報道されているなかで、広報委員会として子ども達に安心して生活してもらえないかを考え、見守りに注目を当てました。

普段は紙面で伝えることが多い広報活動ですが、今回は語り伝える方法で保護者の皆様と一緒に考えようと準備を進めてきました。

1部 講演会

今年の分科会は2部構成で行い、1部では講演会の開催を行いました。

講演テーマ：「地域で行う見守り活動」

講師：坂井市三国木部公民館 館長 森岡 正己 氏

講師である森岡氏は、警察官在籍中の体験や事例を交えて、私達にわかりやすくお話をしてくださりました。

また、不審者の見分け方や見守り活動の着眼点、さらには、子ども達が安全に暮らせる街にするのは、ひと声（あいさつ）運動を行うことで、不審者が寄り付かない街になると語っていただきました。



2部 パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、経験者の生の声を聞こうと開催を行いました。

パネラー：坂井市三国木部公民館 館長 森岡 正己 氏

足羽地区見守り隊 隊長 坂井 国夫 氏

福井県警察本部 生活安全部生活安全企画課 対策官 小林 善司 氏

福井市明倫中学校PTA 会長 下村 文則 氏

コーディネーター：福井県PTA連合会 広報委員会 委員長 増田 秀勝



パネルディスカッションでは、それぞれの立場と経験を聞かせていただき、子どもを見守るということは、保護者という立場から周囲の子ども達にも気を気張ることが大切であり、社会の結束力・地域力を高めることができる「ソーシャル・キャピタル」が必要であると、学びの深い分科会にすることができました。